

農林水産省におきましては、多くの公共事業を発注しております。この際、物価上昇等に関しては、適切な工期の設定や事業費の変更を事業者と丁寧に意見交換しながら進めていくという対応をしております。

また、食品価格の問題もございます。食品には原料となる農産物を含めた調達から生産、加工、流通と店頭に並ぶまでに多くの複雑な取引を経るサプライチェーンが形成されています。こうした中で、それぞれの取引間で適切に価格が転嫁されることが非常に重要となっています。

我々は、非常に弱い立場の農業者の方々、サプライチェーンの途中にある食品企業の方々も非常に苦しい中、どのように価格転嫁を進めていくのか、その価格について消費者にどうやって理解をしていただくか、いろいろと議論をしております。現在、国会への法案提出についても検討しております。

食品に関しては、生産から流通、消費にかけて、データ連携を進めることで、価格転嫁をしやすくするという視点もございます。このため、スマート農業技術を駆使しながら、技術で解決を目指すことも重要です。その意味で、本日この会を STATION Ai で開催しているというのも一つの縁と感じているところでございます。

今後とも、適正な取引と価格転嫁の推進に向けまして、農水省としても努力していきたいと思っております。本日は、有難うございました。